

1. 本県周辺海域の概況(図1, 4/17現在)

- ・黒潮の流型は、C型で推移しています。黒潮本流は犬吠埼に接岸した状態で、本県沖合を北東に流去しています。
- ・親潮第一分枝の先端位置は、北緯38° 00′ 東経142° 30′ 付近(宮城県沖)にあります。親潮の面積は平年よりかなり大きくなっています。また、東北海域の海面水温は、三陸沿岸でかなり低めで推移し、仙台湾～常磐南部海域では、平年並～平年よりやや高めで推移しています(気象庁4/10発表)。

2. 海洋観測結果(4/8～10:調査船「いばらき丸」)

- ・時化の影響により、大洗・鹿島沖の142° 30′ 及び142° 45′ それぞれ2点、計4点が欠測となりました。
- ・水平水温図(水温, 前月差, 平年偏差)を図2～9に示しました。また、各定線の鉛直水温図を図10～13に、会瀬・鹿島定線の鉛直水温図(前月差, 平年偏差)を図14～17に示しました。海面水温は、会瀬沖で13.6～18.5℃, 大洗沖で12.6～20.0℃, 鹿島沖で13.5～19.9℃, 犬吠埼沖で15.7℃～20.1でした(図2)。
- ・前月と比べると、広い海域で昇温(+1～+3℃)しましたが、会瀬沖でやや降温(-1℃)しました(図6～7)。
- ・平年と比べると、会瀬から鹿島にかけて、沿岸～沖合の表層・下層(100m深)において、暖水波及の影響により「やや高め～高め」となりました。また、犬吠埼定線沿岸の表層～100m深においては、「平年並」、沖合の表層～200m深では「やや高め～高め」となりました。(図8～9)。
- ・潮流の特徴として、犬吠埼沖141° 30′ E, 鹿島沖142° E, 大洗沖142° 15′ E, 会瀬沖142° 45′ E以东において、黒潮本流の北東への強い潮流(2～4ノット)が観測されました。会瀬及び大洗の沿岸域では、やや強い真潮(0.7～1.3ノット)が観測されました。

3. 今後の1か月の見通し

- ・黒潮流型はC型で推移するでしょう。黒潮流路は、犬吠埼沖に接岸しながら北東に流去するでしょう。
- ・親潮の面積は平年より大きめで推移するとみられ、親潮第一分枝の先端は北緯37° 00′ 東経142° 30′ (仙台湾付近)まで南下するとみられます。
- ・水温を平年と比べると、極沿岸で「平年並」、沿岸～沖合で「やや高め～高め」で推移するでしょう。但し、現在三陸沖を南下している親潮系冷水が本県海域まで波及した場合には、広い海域で「低め基調」の水温環境となるでしょう。

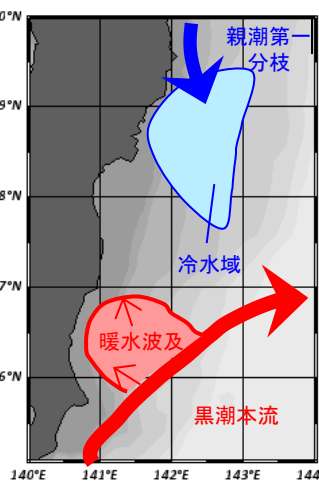


図1 海況の概要
(4月17日現在)

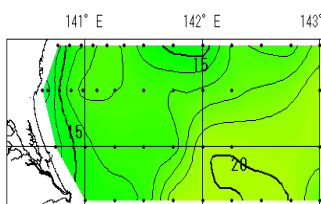


図2 海面水温(°C)

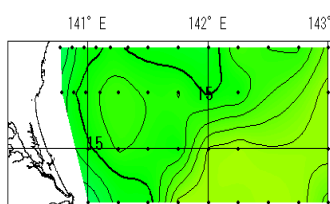


図3 50m深水温(°C)

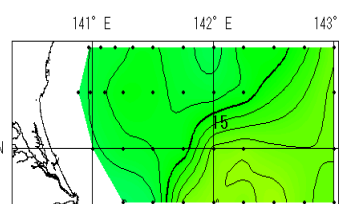


図4 100m深水温(°C)

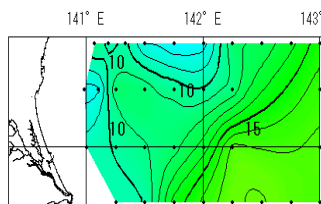


図5 200m深水温(°C)

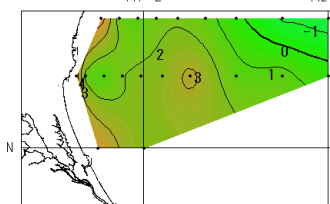


図6 海面水温前月差(°C)

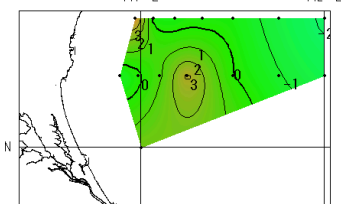


図7 100m深水温前月差(°C)

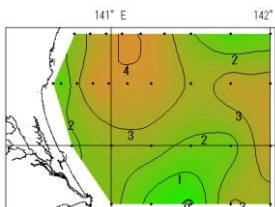


図8 海面水温偏差(°C)

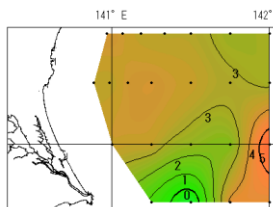


図9 100m深水温偏差(°C)

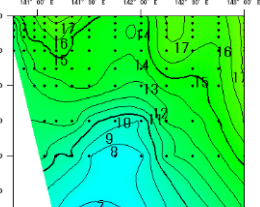


図10 会瀬沖鉛直水温(°C)

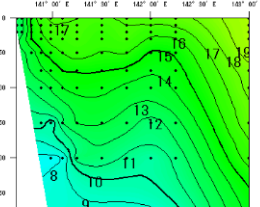


図11 大洗沖鉛直水温(°C)

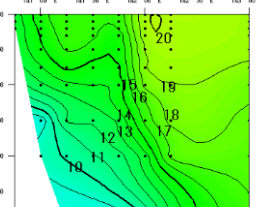


図12 鹿島沖鉛直水温(°C)

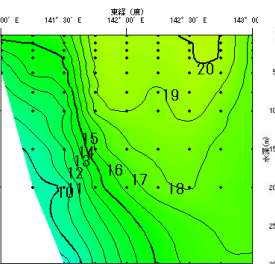


図13 犬吠埼沖鉛直水温(°C)

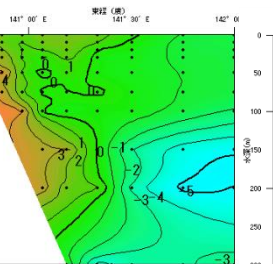


図14 会瀬沖鉛直水温前月差(°C)

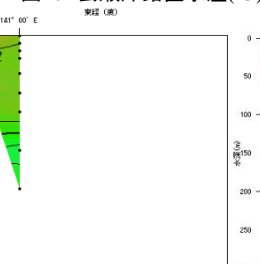


図15 鹿島沖鉛直水温前月差(°C)

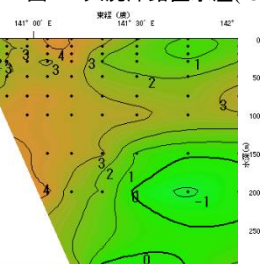


図16 会瀬沖鉛直水温偏差(°C)

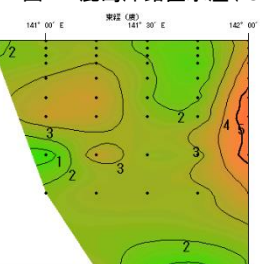


図17 鹿島沖鉛直水温偏差(°C)